



2023年9月13日

各 位

会 社 名 株式会社アイロムグループ
代 表 者 名 代表取締役社長 森 豊隆
(コード番号 2372 東証プライム)
問 合 せ 先
役 職 取締役 CEOオフィスセンター担当
氏 名 小島 修一
電 話 03-3264-3148

(開示事項の経過) 当社子会社による独 Evotec 社との 臨床用 iPS 細胞作製技術のライセンス契約に関するお知らせ

当社の 100%子会社である株式会社 ID ファーマ（以下、「ID ファーマ」という）は、ドイツ Evotec International GmbH（以下、「Evotec」という）と、(1)ID ファーマが所有する CytoTune®-iPS (※1) 技術（以下、「本技術」という）を用いて臨床用 iPS 細胞を作製すること、(2)パートナー企業（Evotec が協業契約を締結する企業や研究機関）に作製した臨床用 iPS 細胞（以下、「本 iPS 細胞」という）を提供すること、(3)パートナー企業による本 iPS 細胞由来の細胞製剤開発を支援すること等を全世界を対象として許諾し、ライセンス契約を締結することを、本日、決定しましたので下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 契約の概要

ID ファーマは、2018年5月16日付「当社子会社による独 Evotec 社との iPS 細胞作製技術に関するライセンス契約締結のお知らせ」のとおり、Evotec が本技術を用いて iPS 細胞を作製し、その iPS 細胞由来の分化細胞を創薬スクリーニング等に用いることについて、EPO (European Patent Organization) 加盟国を対象とする非独占的な権利を許諾しております。

この度、ID ファーマは、Evotec に対してさらに、本技術を用いて臨床用 iPS 細胞を作製し、Evotec のパートナー企業による臨床及び上市段階における細胞製剤の開発や製造を支援することについて全世界を対象とする非独占的な権利を許諾することを決定しました。

2. 契約の意義

Evotec は独自の研究開発と、多数の製薬・バイオテクノロジー企業、大学等の研究機関等と連携した研究開発を行っており、パートナー企業の医薬品開発の支援等を推進しています。本契約の締結により、本技術を用いて作製された臨床用 iPS 細胞やその iPS 細胞由来の分化細胞等を使用して、Evotec とそのパートナー企業の細胞製剤等の開発が進展することが期待されます。

ID ファーマは、本契約のように CytoTune®-iPS を活用した iPS 細胞等の作製とその商業利用を許諾する契約の締結を推進しており、そのような取り組みにより基盤技術であるセンダイウイルスベクターを用いた新たな事業機会を創出できるものと考えております。

3. Evotecについて (<https://www.evotec.com>)

Evotec は、有効性の高い治療薬を発見・開発し、患者様に提供するという使命のもと、独自のビジネスモデルを持つライフサイエンス企業です。Evotec のマルチモダリティ・プラットフォームは、ファースト・イン・クラスおよびベスト・イン・クラスの医薬品の探索、開発、製造のために、革新的な技術、データおよび科学を独自に組み合わせて構成しています。この「データ駆動型 R&D による治療法の確立」を、独自のプロジェクトやトップ 20 の製薬企業、800 を超えるバイオテクノロジー企業、学術機関、その他の医療関係者を含むパートナーとのネットワークの中で活用しています。神経学、腫瘍学、代謝性疾患、感染症など、現在十分な治療法が確立されていない領域において、革新的な治療薬のための共同パイプラインの構築を目指し、これまでに探索から臨床開発まで、200 を超える独自および共同の研究開発のポートフォリオを確立しました。5,000 人以上の優秀な人材を擁し、グローバルに事業を展開する Evotec の 17 の拠点は、相乗効果の高い技術とサービスを提供し、相互補完的な研究開発基盤として運営されています。

4. 今後の見通し

本件による 2024 年 3 月期の業績への影響は軽微ですが、本件は、当社グループの基盤技術が新たな再生医療・細胞治療製品等の研究開発に貢献することが期待されるものであり、センダイウイルスベクターを用いた新たな事業機会を創出し、中長期的に当社の業績へ寄与するものと考えております。

※ 1. CytoTune®-iPS について

CytoTune®-iPS は、京都大学の山中伸弥教授の iPS 細胞作製技術と、ID ファーマのセンダイウイルスベクター技術を融合させて開発した iPS 細胞作製キットです。本キットを用いることにより、一回のベクターの使用で体細胞から iPS 細胞を効率よく誘導することができます。特にヒトに大きな苦痛を与えずに採取できる末梢血・血液細胞からの効率的な誘導が可能であり、他の方法と比べて優れた性能を有しています。

本キットを用いて作製された iPS 細胞は、元の細胞の染色体上の遺伝子配列を無傷にそのまま維持しており、また、iPS 細胞誘導に用いたベクターが細胞から素早く消失されるよう改良されているため、国内外の研究者から高い評価を受けています。

以 上